

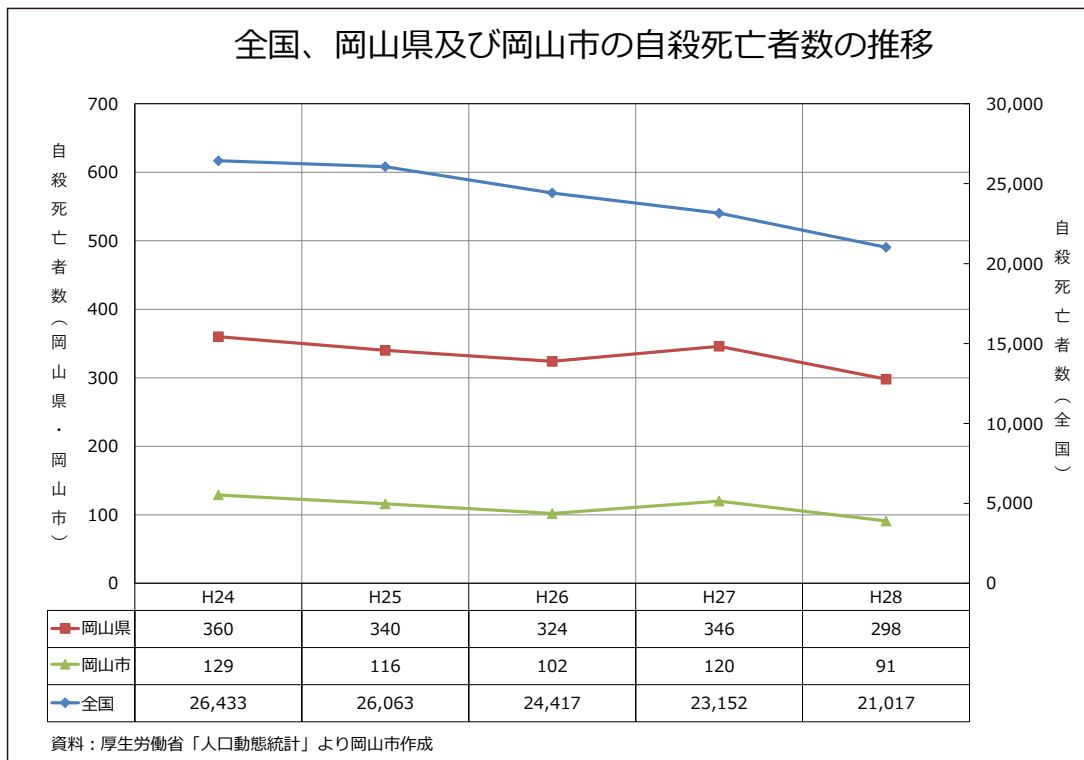
第 2 章

岡山市における自殺の現状

第2章 岡山市における自殺の現状

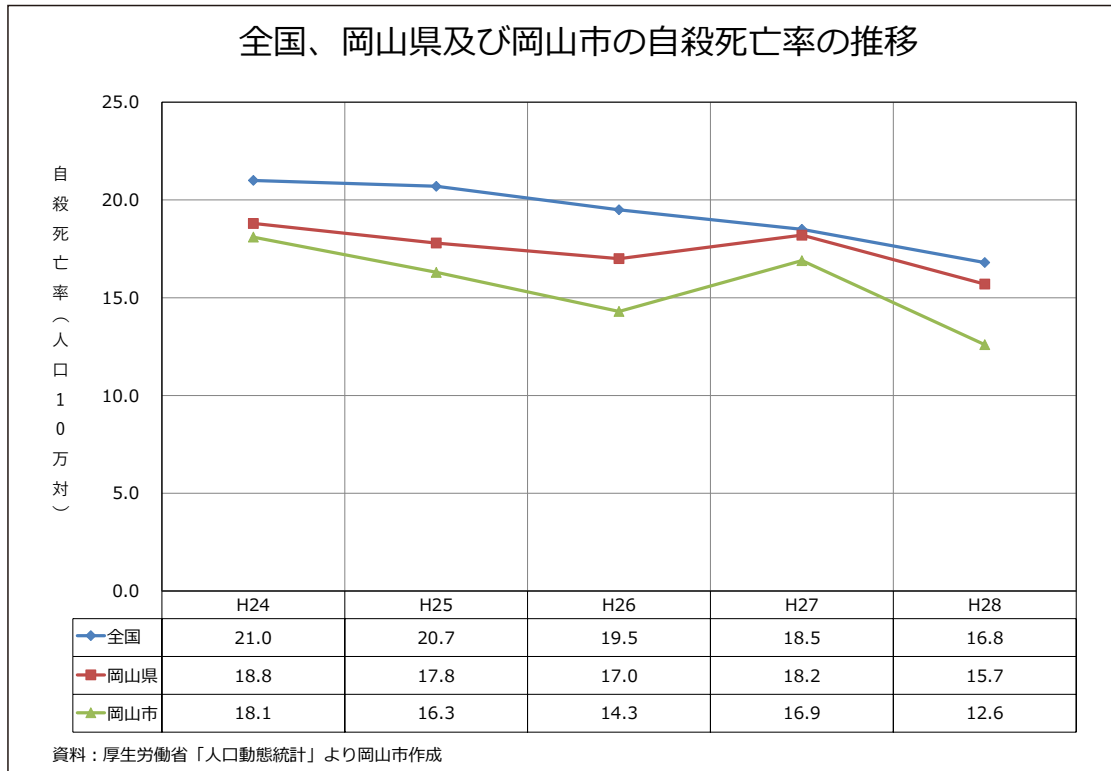
1 自殺者数の推移

本市の自殺者数は、平成10年に100人を超え、平成19年の150人をピークに、その後、100～150人で推移し、平成28年の自殺者数は91人となっています。



2 自殺死亡率の推移

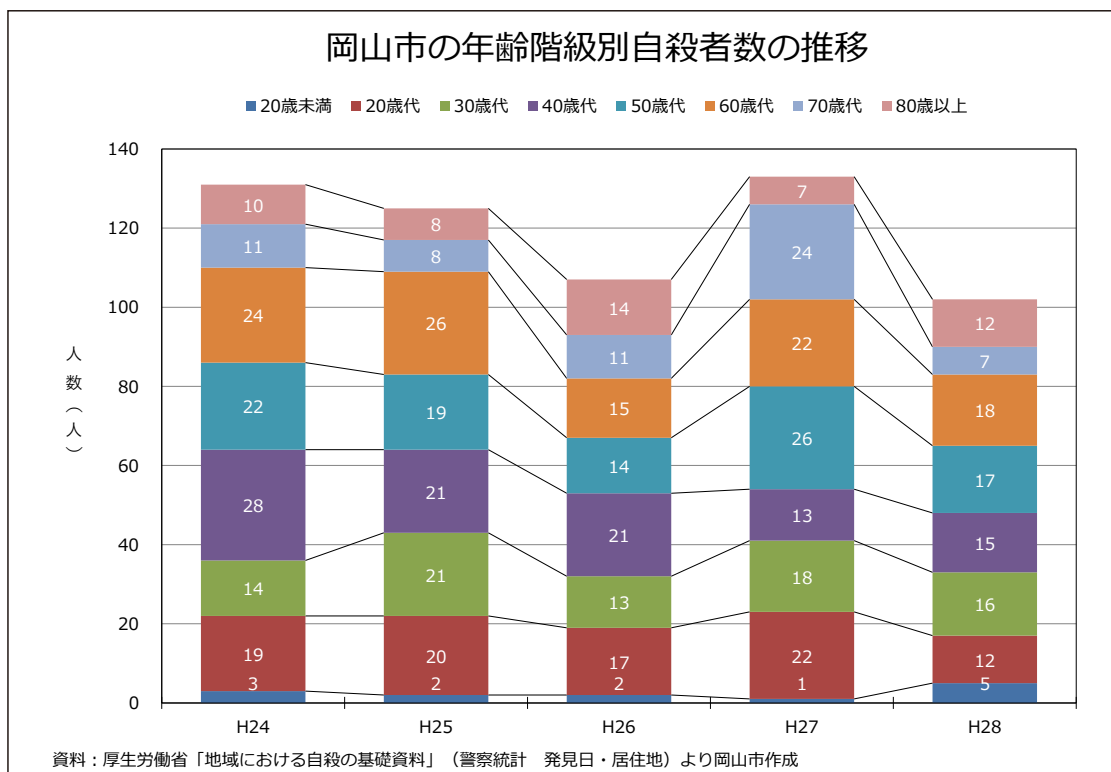
自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）は、平成19年に21.9（全国24.4）に急増したものの、全国平均よりも低く、その後は、減少傾向をみせていました。しかし、平成27年にはやや増加しており、一定して減少傾向にある訳ではなく予断を許さない状況にあり、今後も動向に注意する必要があります。

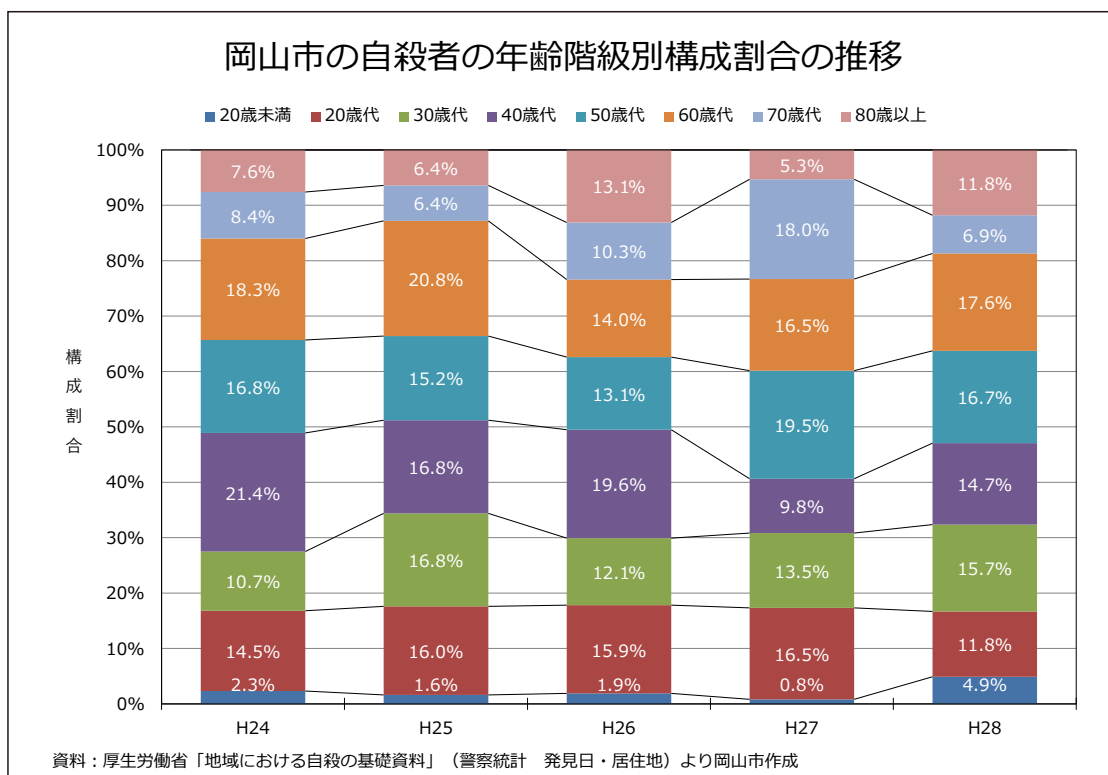


3 年齢階級別の自殺者の状況

近年、50歳以上と50歳未満の自殺者に占める割合が、ほぼ50%で推移していましたが、平成27年については、50歳以上の自殺者が増加しています。

また、どの年齢階級別も増減があるのに対して、20歳代以下は、一定の割合で大きな変化が見られません。

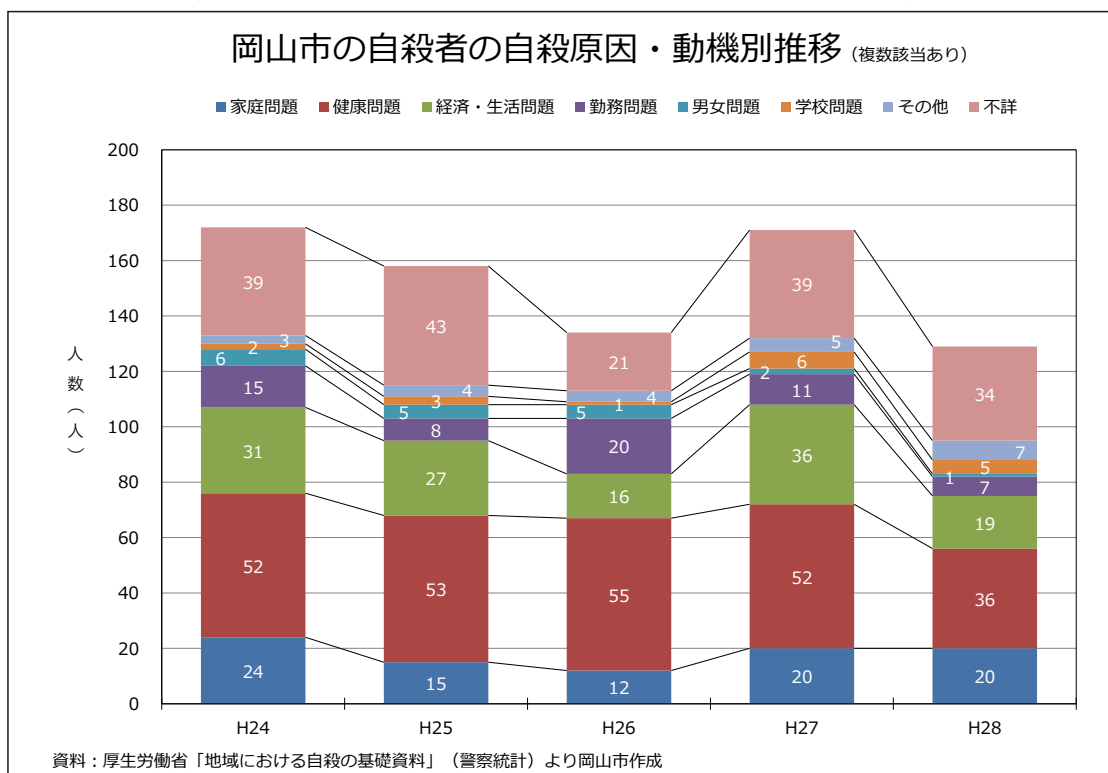


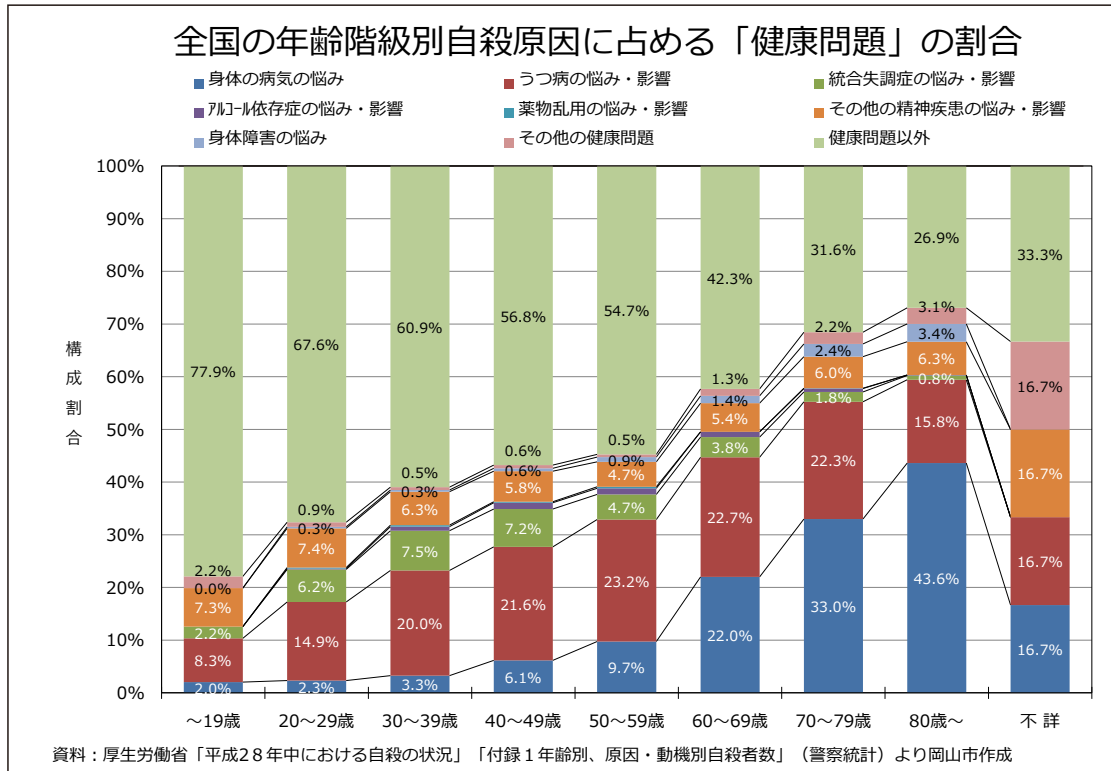


4 原因・動機別の自殺者数の推移

自殺の原因・動機としては、「健康問題」が最も多く、次いで「経済・生活問題」、「家庭問題」となっており、この3つで大半を占めていますが、一方で自殺の原因・動機が様々であることがわかります。

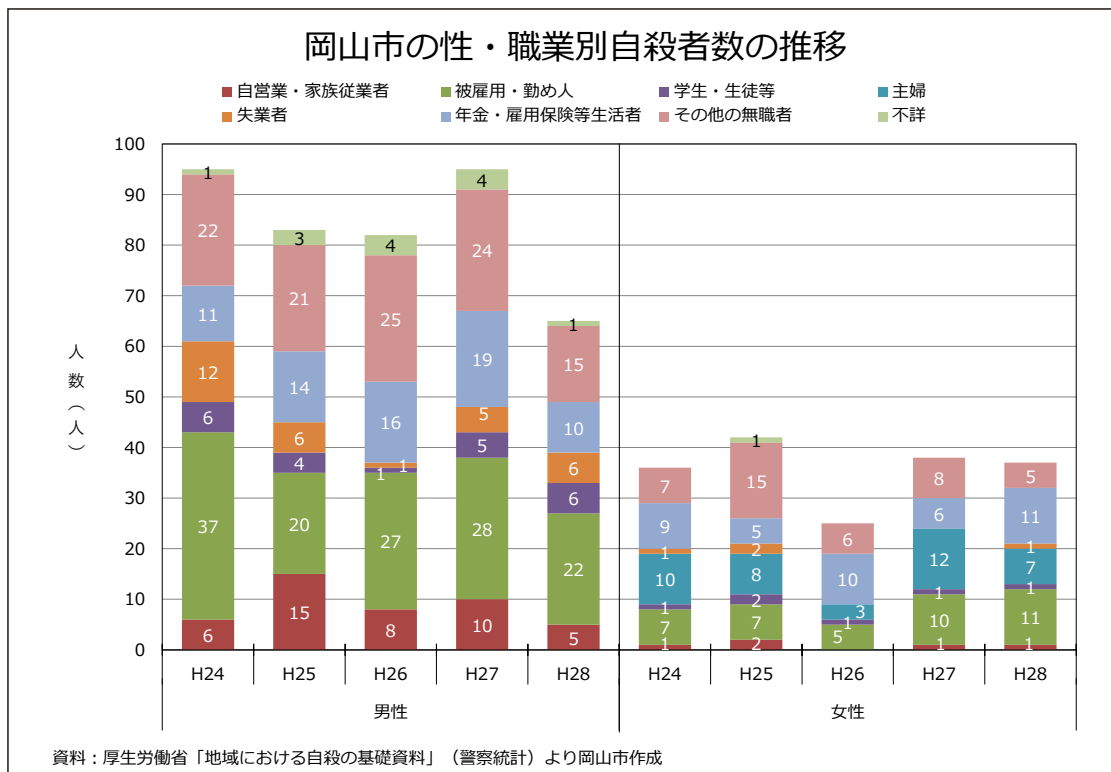
また、健康問題を原因・動機とする自殺者数の全国の内訳をみると、50歳代までは、「うつ病の悩み・影響」が、年齢が上がるにつれ「身体の病気の悩み」が増えています。





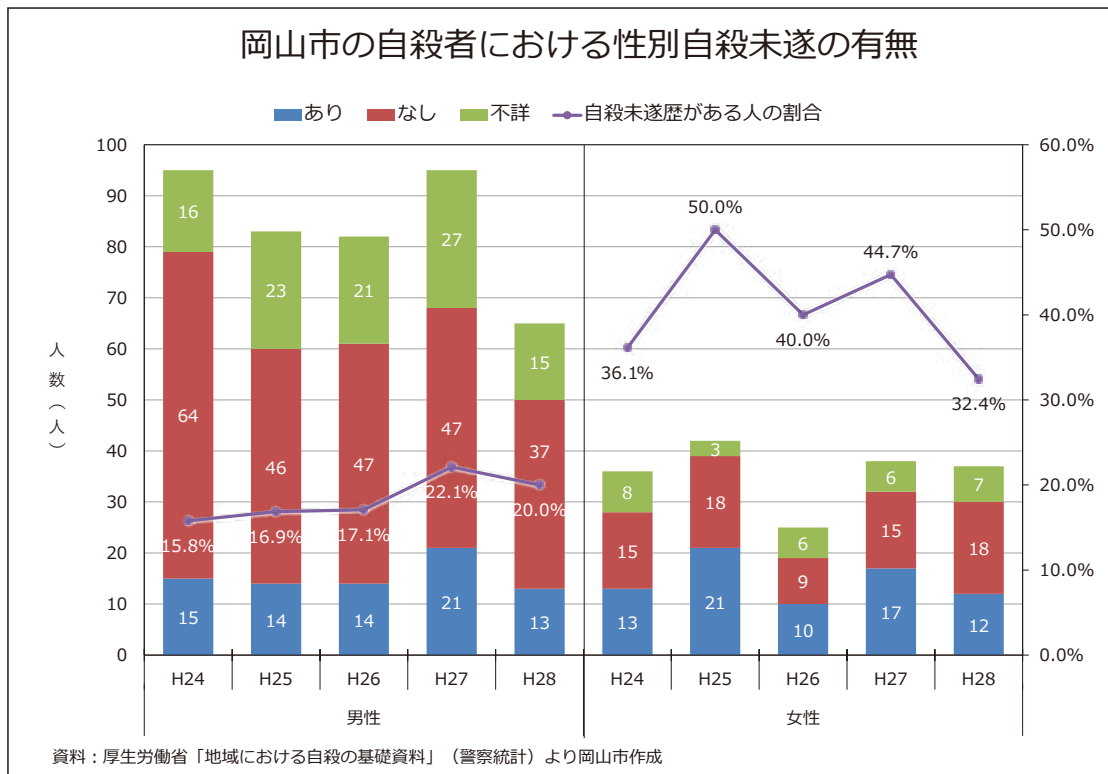
5 職業別の自殺者数の推移

職業別の自殺者数を性別でみた場合、男性では、「被雇用・勤め人」が最も多く、女性は、「主婦」が多いことがわかります。



6 自殺未遂歴の有無の推移

自殺者の自殺未遂歴の有無についてみると、自殺未遂歴がある人の割合は、男性に比べ女性が高くなっており、特に平成25年以降は40%以上の人が自殺未遂歴ありとなっていました。平成28年には32.4%となっています。



7 性・年齢階級別自殺者数の全国との比較

自殺死亡率は、全国を下回っていますが、性・年齢階級別に比較してみると、取り組むべき課題もみえてきました。

自殺者数については、毎年変動があるため、平成24年～平成28年の累計としました。そして、全国の自殺死亡率を岡山市の人口にあてはめた場合の人数を全国値として表しました。すると、15歳～34歳の自殺者が全国値と同程度であること、男性では45歳～54歳の自殺者が多いこと、女性では65歳～69歳の自殺者が全国値より多いことがわかりました。

